

薬局における 麻疹対応について

令和元年7月28日

一般社団法人 三重県薬剤師会

うえむら薬局 上村 肇

麻疹？…って
はしかのこと
だっけ？

自分の地域では
流行らないでしょ

患者は医療機関で
止まるでしょ

薬局には関係ない
大丈夫…

麻しん（はしか）患者の発生について

昨年未だ津市内において、民間団体が自施設で開催した健康所（届出）が発生し、その後の確認により、現時点で同様に発生しています。

同研修会の参加者及び、把握している接触者については、は事前に医療機関に連絡し指示に従い受診するよう周知して本公表は、今後、二次感染、三次感染の可能性もあること今後、本件に関する情報は、三重県ホームページの「麻しん（はしか）について」において随時更新していきます。

<http://www.pref.mie.lg.jp/YAKUMUS/HP/m0068000>

- 1 県内保健所に届出のあった麻しん患者の概要
- ・患者A 20歳代 男性 津市在住 予防接種歴
 - ・患者B 10歳代 男性 津市在住 予防接種歴
 - ・患者C 10歳代 男性 津市在住 予防接種歴

2 経緯

1月 7日（月）津保健所に市内の医療機関から1名の麻しんウイルス陽性と判明した。（患者A）

1月 8日（火）津保健所に市内の医療機関から2名の麻しんウイルス陽性と判明した。（患者B、

【県民の皆様へ】

麻しん（はしか）を疑うような症状（高熱・発疹・咳・鼻汁）を認めた場合は、速に医療機関へ連絡し、麻しん（はしか）の疑いがある事を伝えて医療機関の指示に従って受診をしてください。

また、麻しん（はしか）は感染力が強く、空気感染する可能性があり、ワクチン接種が最も効果的な予防法ですので以下の予防接種

平成31年3月8日（金）

麻しん（はしか）患者の発生について（第20報）

平成31年3月7日（木）、伊勢保健所に伊勢市内の医療機関から届出があり、検査の結果、麻しん陽性と判明しました。

本公表は、麻しん患者発生について、広く情報提供を行うものです。報道機関の皆様におかれましては、感染症法の趣旨に則り、個人情報保護の観点から本人等が特定されないことがないよう、格段のご配慮をお願いします。

【今回、判明した患者の概要】

	性別	年代	居住地	予防接種歴	発生届日	結果判明日	備考
患者51	男性	40歳代	志摩市	不明	3月7日	3月7日	2月18日から25日まで フィリピン滞在

平成31年3月22日（金）

麻しん（はしか）患者の発生について（第21報）

平成31年3月20日（水）に鳥羽市内の医療機関から、22日（金）に伊勢市内の医療機関から、それぞれ1名の麻しん（はしか）患者の届出が伊勢保健所がありました。

本公表は、患者と接触した方が、麻しんに感染している可能性があるために、広く情報提供を行うものです。

【今回、判明した患者の概要】

	性別	年代	居住地	予防接種歴	発生届日	結果判明日	備考
患者52	女性	40歳代	鳥羽市	2回	3月20日	3月20日	患者51と医療機関で接触
患者53	女性	30歳代	鳥羽市	不明	3月22日	3月20日	患者51と医療機関で接触

麻疹感染者566人、早くも昨年1年間の2倍超

6/4(火) 14:03配信

読売新聞オンライン

麻疹（はしか）の感染者の報告数が、今年に入ってから5月26日までに566人となり、**昨年1年間（282人＝暫定値）の2倍**となった。国立感染症研究所が4日発表した。都道府県別では大阪が最も多く142人で、東京96人、**三重54人**、神奈川50人、愛知37人などとなっている。

5月26日までの1週間では新たに26人の報告があった。神奈川5人、埼玉、福岡、佐賀各4人など、**小規模な発生が続いており、終息の気配はない。**

感染症に詳しい川崎市健康安全研究所の岡部信彦所長は「流行地のフィリピンやベトナム、ミャンマー、インドネシアなどと同じタイプの遺伝子が検出されている。渡航者が感染し、免疫のない人がうつり、ウイルスが国内に居座りつつある状況だ」と分析する。

修飾麻疹

麻疹に対して**不完全な免疫**を持つ人が麻疹ウイルスに感染した場合、**軽症で非典型的な麻疹**を発症することがある。

潜伏期は14～20日に延長し、カタル期症状は軽度か欠落、コプリック斑も出現しない。発疹は急速に出現するが、融合（癒合）はしない。

最近では麻疹ワクチン接種者がその後麻疹ウイルスに暴露せず、ブースター効果（免疫増強効果）が得られないままに体内での麻疹抗体価が減衰し、麻疹に罹患する場合もみられる。

感染力は典型的な麻疹より弱く、感染源にはなりにくいとされるが、注意は必要である。



一般社団法人 日本環境感染学会 医療関係者のためのワクチンガイドライン

第2版
(第1版：院内感染対策としてのワクチンガイドライン)

一般社団法人 日本環境感染学会
ワクチンに関するガイドライン改訂委員会



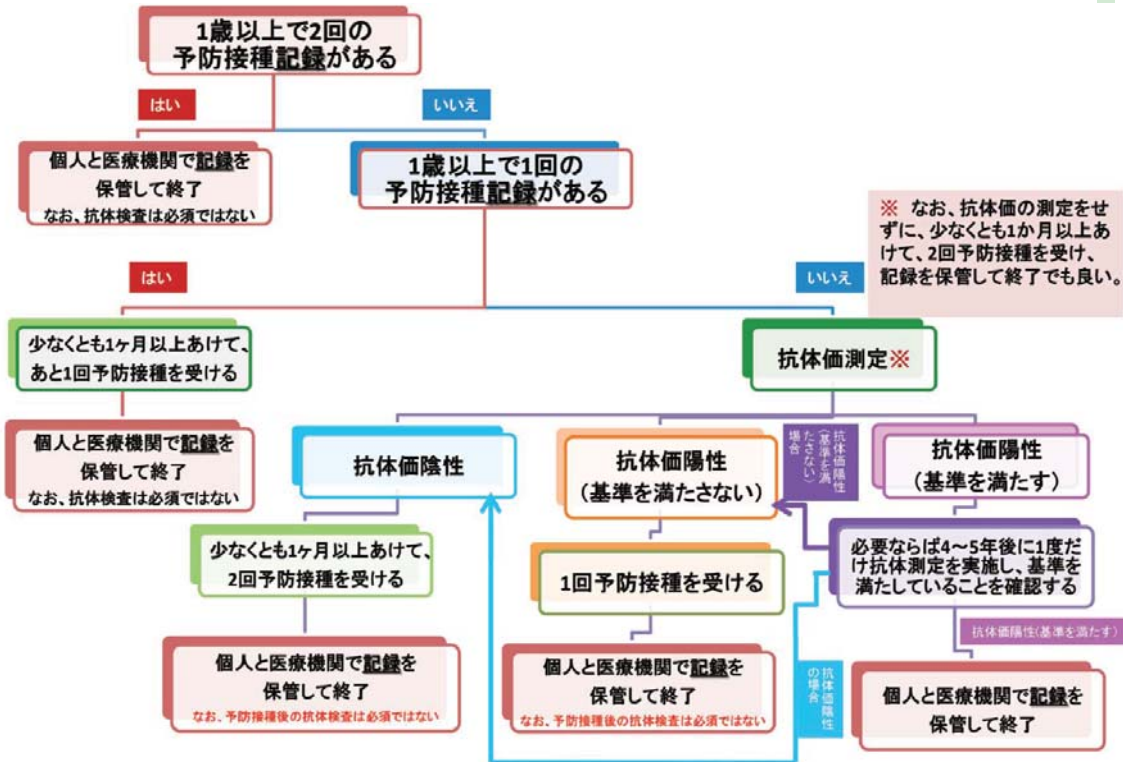
一般社団法人
日本環境感染学会

JAPANESE SOCIETY FOR INFECTION PREVENTION AND CONTROL

目次

第2版改訂にあたって	i
第1版 はじめに	v
[1] B型肝炎ワクチン	S1
1. 背景	S1
2. 接種対象者	S1
3. 接種時期	S2
4. 接種方法	S2
5. 効果	S2
6. 副反応	S3
7. 経過観察	S3
8. その他	S3
9. 参考資料	S3
[2] 麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘ワクチン	S5
1. 背景	S5
2. 接種対象者	S5
3. 接種に際してのフローチャート	S5
4. 注意事項	S6
5. ワクチンの接種不適当者	S6
6. 接種するワクチンの種類	S8
7. 効果	S8
8. 副反応	S8
9. おわりに	S9
10. 参考資料	S9
[3] インフルエンザワクチン	S11
1. 背景	S11
2. 接種対象者	S11
3. 接種時期	S12
4. 接種方法	S12
5. 副反応	S12
6. 費用負担	S12
7. その他	S12
8. 参考資料	S13

麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘ワクチン接種のフローチャート



聞いてみました

薬局スタッフの麻疹の予防接種・罹患歴等

A	40代	罹患歴あり
B	40代	不明
C	50代	不明
D	20代	予防接種2回済み
E	20代	予防接種1回済み
F	30代	不明 1年前に予防接種1回済み
G	40代	予防接種1回済み
H	40代	不明
I	40代	不明
J	70代	不明
K	40代	不明

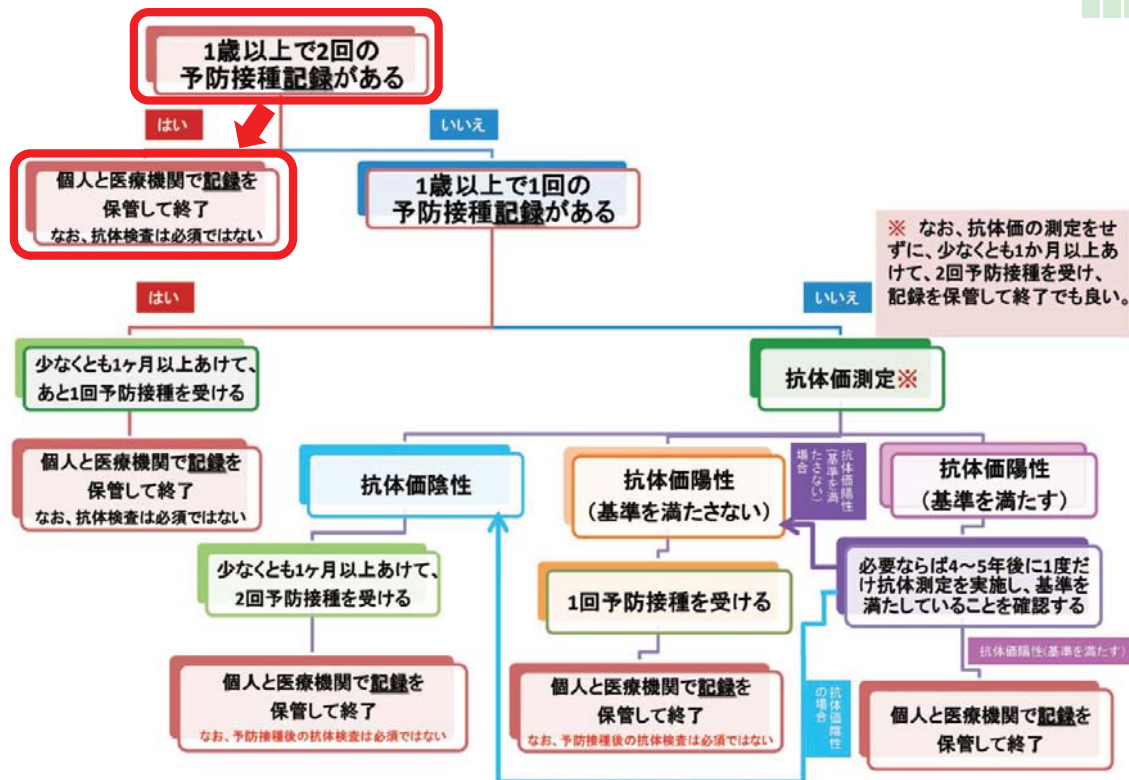


図2 麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘ワクチン接種のフローチャート

薬局スタッフの麻疹の予防接種・既往歴等

A	40代	罹患歴あり
B	40代	不明
C	50代	不明
D	20代	予防接種 2回済み
E	20代	予防接種 1回済み
F	30代	不明 1年前に 予防接種 1回済み
G	40代	予防接種 1回済み
H	40代	不明
I	40代	不明
J	70代	不明
K	40代	不明

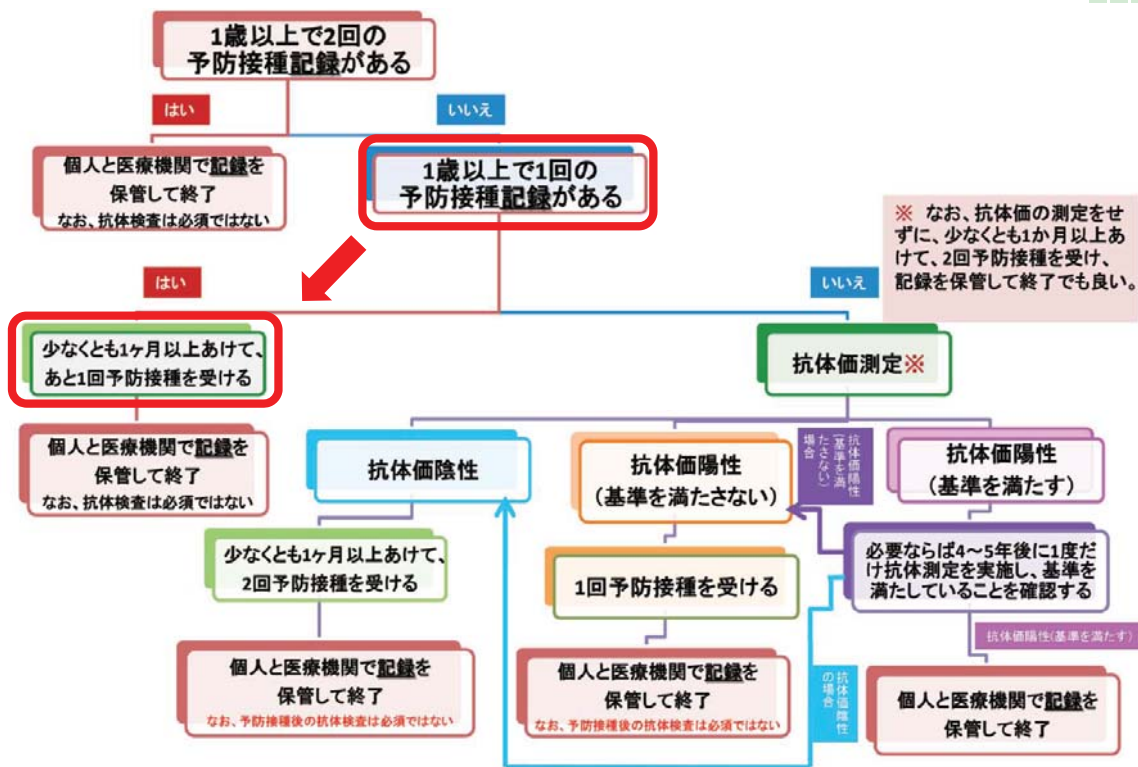


図2 麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘ワクチン接種のフローチャート

薬局スタッフの麻疹の予防接種・既往歴等

A	40代	罹患歴あり
B	40代	不明
C	50代	不明
D	20代	予防接種 2回済み
E	20代	予防接種 1回済み
F	30代	不明 1年前に予防接種 1回済み
G	40代	予防接種 1回済み
H	40代	不明
I	40代	不明
J	70代	不明
K	40代	不明

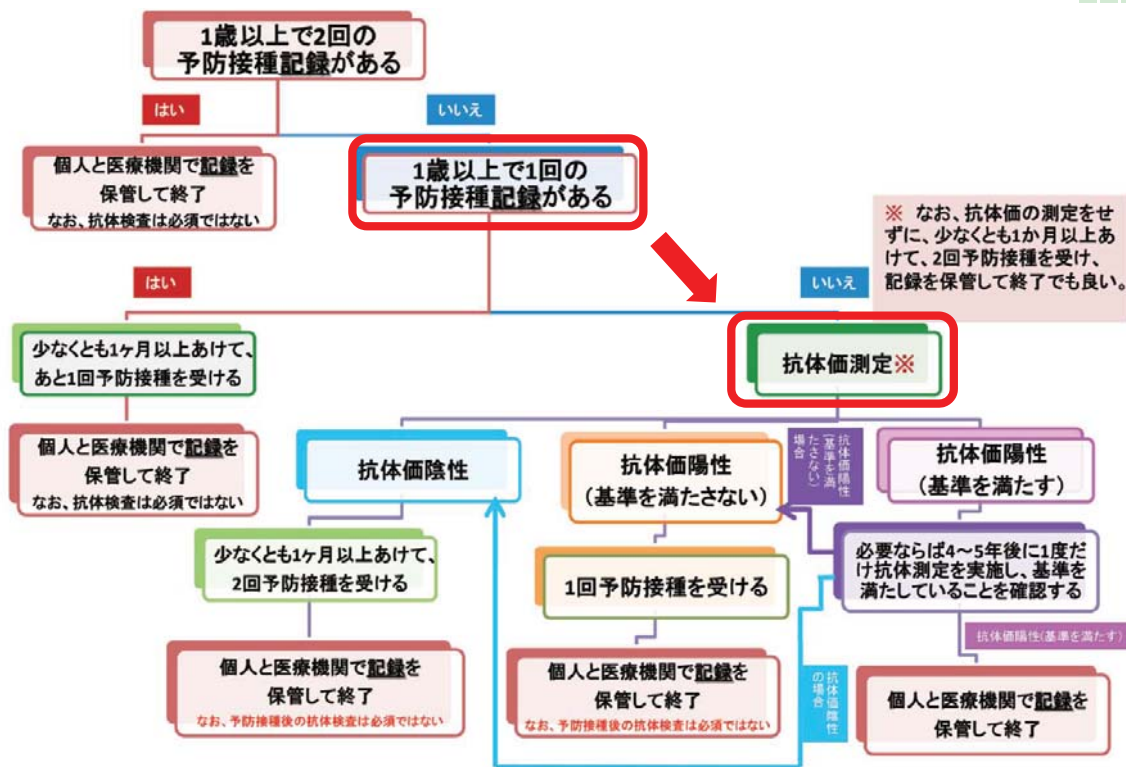


図2 麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘ワクチン接種のフローチャート

表1 抗体価の考え方

疾患名	抗体価陰性	抗体価陽性 (基準を満たさない)	抗体価陽性 (基準を満たす)
麻疹	EIA法(IgG):陰性 あるいはPA法:<1:16 あるいは中和法:<1:4	EIA法(IgG):(±)~16.0 あるいはPA法:1:16,32,64,128 あるいは中和法:1:4	EIA法(IgG):16.0以上 あるいはPA法:1:256以上 あるいは中和法:1:8以上
風疹	HI法:<1:8 あるいはEIA法(IgG):陰性	HI法:1:8,16 あるいはEIA法(IgG):(±)~8.0	HI法:1:32以上 あるいはEIA法(IgG):8.0以上
水痘	EIA法(IgG):<2.0※ あるいはIAHA法:<1:2※ あるいは中和法:<1:2※	EIA法(IgG):2.0~4.0※ あるいはIAHA法:1:2※ あるいは中和法:1:2※	EIA法(IgG):4.0以上※ あるいはIAHA法:1:4以上※ あるいは中和法:1:4以上※ あるいは水痘抗原皮内テストで陽性(5mm以上)
流行性耳下腺炎	EIA法(IgG):陰性	EIA法(IgG):(±)	EIA法(IgG):陽性

(4疾患とも補体結合反応(CF法)では測定しないこと)

(麻疹と流行性耳下腺炎は赤血球凝集抑制法(HI法)では測定しないこと)

(※ 水痘については、平成25年度厚生労働科学研究費補助金新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業「ワクチン戦略による麻疹および先天性風疹症候群の排除、およびワクチンで予防可能疾患の疫学並びにワクチンの有用性に関する基礎的臨床的研究(研究代表者:大石和徳)」庵原分担報告書より引用し、改定した。)

麻疹の抗体価を見てみると・・・

		抗体価 陰性	抗体価陽性 (基準を満たさない) 2~15.9	抗体価陽性 (基準を満たす) 16以上
A	40代			109
B	40代			53
C	50代			53.1
D	20代		5.7	
E	20代		12.3	
F	30代			53
G	40代			29.7
H	40代			19.8
I	40代		15.3	
J	70代			60.6
K	40代			21

予防接種
2回した

予防接種
1回した

不明

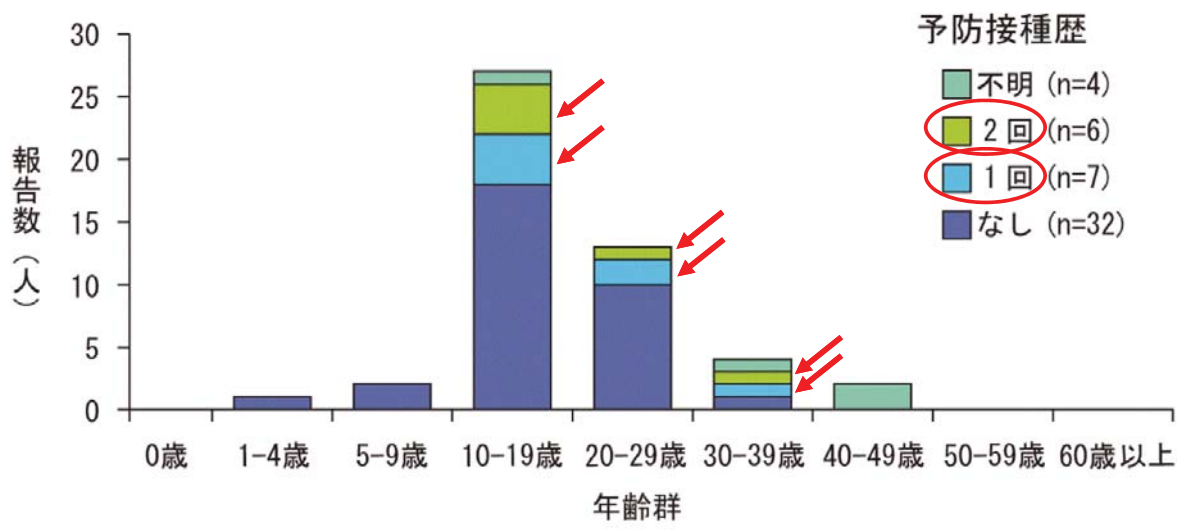


図2. 本事例患者の年齢分布と予防接種歴

10~20代のワクチン未接種者が今回のアウトブレイクの中心であったことが分かる。

		麻疹（はしか）			風疹（3日ばしか）		
		2未満	2～15.9	16以上	2未満	2～7.9	8以上
A	40代			109			78.8
B	40代			53			20.3
C	50代			53.1			31.9
D	20代		5.7			6.5	
E	20代		12.3			5.1	
F	30代			53			44.4
G	40代			29.7			126.7
H	40代			19.8			35.5
I	40代		15.3				20.1
J	70代			60.6		6.3	
K	40代			21			41.7

- **D**と**E**のスタッフについて、MR（麻疹風疹混合）ワクチンを説明と同意の上、接種してもらった。
- **I**については、風疹の抗体価が充分だったため、今回接種せず、4～5年後にもう一度抗体価を測る予定。
- 抗体価検査とワクチン接種は、薬局負担で行った。

		予防接種・既往歴等	麻疹（はしか）			風疹（3日ばしか）		
			2未満	2～15.9	16以上	2未満	2～7.9	8以上
A	40代	罹患歴あり			109			78.8
B	40代	不明			53			20.3
C	50代	不明			53.1			31.9
D	20代	予防接種2回済み		5.7			6.5	
E	20代	予防接種1回済み		12.3			5.1	
F	30代	不明 1年前に予防接種1回済み			53			44.4
G	40代	予防接種1回済み			29.7			126.7
H	40代	不明			19.8			35.5
I	40代	不明		15.3				20.1
J	70代	不明			60.6		6.3	
K	40代	不明			21			41.7

- 過去に予防接種をしたかどうかは、分からないスタッフが多かった。
- 予防接種をしても、抗体価が基準を満たしていないスタッフもいた。

- 【1】 B型肝炎ワクチン
- 【2】 麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘ワクチン
- 【3】 インフルエンザワクチン

「医療関係者のためのワクチンガイドライン 第2版」

薬局での感染症への対応について

- 【3】 インフルエンザワクチン
→ 毎年、流行期前に接種する

母子手帳で
確認する！

- 【2】 麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘ワクチン
→ 罹患歴のある者、2回接種者はOK！記録を保存しておく
1回接種者にはさらに1回接種する
接種不明者は抗体価を測定し、
 - ① 「抗体価陽性」「基準を満たす」ならOK！記録を保存しておく
 - ② 「抗体価陽性」「基準を満たさない」なら、1回接種する
 - ③ 「抗体価陰性」は2回接種する

- 【1】 B型肝炎ワクチン
→ インスリン注射液や注射針等を回収をしている薬局の場合、
針刺し事故等の可能性もあるので予防接種が必要

まとめ

- 薬局も含めて医療関係者は、自分自身を麻疹等の感染症から守るとともに、自分自身が感染源になってはならないため、徹底した予防接種への対策が求められる。
- 麻疹・風疹の他にも、水痘、流行性耳下腺炎、B型肝炎への抗体価測定や予防接種等の対策も必要であると考える。
- スタッフ個々に抗体価測定とワクチン接種の証明書を作り、薬局で管理していきたい。
- 麻疹感染者がかげ薬を購入するために薬局を訪れる場合もあるので、麻疹を疑い、受診勧奨できるノウハウを身に着けるべきである。

今後は、三重県下の多くの薬局で、麻疹等の感染症への対応ができるように準備すべきである。

更には、麻疹患者等が発生した場合に対応できる準備も必要である。